

## 会議結果報告書

令和6年3月4日

会議の名称	令和5年度 第1回舞鶴旧鎮守府倉庫施設需品庫保存修理懇話会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年2月9日(金) 14時00分～16時00分	
開催場所	舞鶴市役所 413会議室	
出席者	委員6名、他9名 計15名(詳細別紙)	
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長選出</li> <li>・議題</li> <li>(1) 事業の概要説明、スケジュール</li> <li>(2) 調査結果報告</li> <li>(3) 修理項目・方針の確認</li> <li>(4) 復原箇所の確認</li> <li>(5) 耐震補強の方針の確認</li> <li>・その他</li> </ul>	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙議事要旨のとおり。	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市 市民文化環境部 文化振興課 TEL (0773)66-1019	

# 第1回 舞鶴旧鎮守府倉庫施設需品庫保存修理策定懇話会

## 議事要旨

日時：令和6年2月9日(金) 14時～16時

会場：舞鶴市役所 別館4階 413会議室

出席者：敬称略

- 石田 潤一郎 会長(武庫川女子大学 建築学部景観建築学科 教授)
- 日向 進 委員(京都工芸繊維大学 名誉教授)
- 笠原 一人 委員(京都工芸繊維大学 准教授)
- 宗本 晋作 委員(立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科 教授) \*オンライン参加
- 長谷川 直司 委員(元国土交通省 国土技術政策総合研究所住宅研究部  
住宅計画研究室 研究官 国総研シニアフェロー)
- 矢谷 明也 委員(舞鶴市立赤れんが博物館)
- オブザーバー 京都府文化財保護課 建造物係 小宮参事
  
- 事務局 文化スポーツ室 三方室長  
文化振興課 松本担当課長  
歴史文化まちづくり係 松崎
- (同席) 資産マネジメント推進課 松尾担当課長、佐野係長、由里
- 受託事業者 建築研究協会 伊藤、古荘

### 次第

1. 開会
2. あいさつ 三方室長
3. 会長選出 →石田会長選出
4. 議題
  - (1) 事業の概要説明、スケジュール  
事務局から説明。質疑等特になし。
  - (2) 調査結果報告  
事務局から説明。質疑等特になし。
  - (3) 修理項目・方針の確認  
事務局から説明。質疑等特になし。

#### (4) 復原箇所の確認

市) 建物内に軌道が敷設 (T14 年頃) され、倉庫として機能的にも完成した段階 (昭和初期頃) の状況に復することを原則としたい。

委員) 全体方針として了承。

#### ●木製床の復原について

市) 木製床が存在したのは建設当初の約 5 年間。木製床を復原するかどうかは検討課題。

委員)

- ・換気金物が他では見られないもの。技術史的に貴重なものであればどこかで復原をすべき。
- ・換気金物について類例調査をして評価すべき。

#### ●窓の鉄扉、鉄格子、鉄扉について

市) 復原方針だが、技術的な問題 (金物の取り扱い) が課題。

委員)

- ・鉄扉を復原する場合は煉瓦解体範囲が大きくなる。一部のみ復原するか、痕跡のみ残すことも選択肢。
- ・復原しても扉が錆びて開閉ができなくなるので、開閉どちらかに固定する方が良い。
- ・補修煉瓦の調達方法を検討しておくべき。

→復原方針は保留。

#### ●木製扉・庇について

市) 失われている出入口の木製扉及び庇は復原方針。正面側庇は落雪対策が必要。

委員)

- ・建設当初の仕様書通りに戻す方向が良い。添え柱は妥当。

#### (5) 耐震補強の方針の確認

市) 3 棟共、内部補強の工法で設計を進めている。

委員) 大きな意見無し。

以上